

地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会学校地理教育小委員会

(第24期、第2回)

7月15日(日) 於：慶應義塾大学三田キャンパス 14:30~15:40

出席：井田(委員長)、秋本(副委員長)、碓井、竹内、青柳、浅川、池、泉、高木、高橋、
滝沢、杉本、須原、関谷、平澤、松井、山崎、吉田、吉水、今野(幹事・記録)

欠席：揚村、志村

1. 前回の議事録・議事要旨の確認

2. 「地理総合」は他の地理歴史科・公民科科目を含め、どのように配置されるのかのモデル案を提示し、検討した。

・1年で社会系2単位開設のケースが多いと想定される。

→1年で地理総合(公共と並行)、2・3年で地理探究(歴史総合、歴史系探究と並行)

→(1年で公共)、2年で地理総合(歴史総合と並行)、3年で地理探究

上記のいずれかが妥当。

3. 大学入試科目としての「地理総合」の扱いの提言

・新テスト・センター試験後継入試の概要公表前に提言すべき

→「地理総合」、「歴史総合」の統合・融合科目

→「地理総合」、「地理探究」とあわせて「地理」とする入試科目。

→「歴史総合」、「日本史探究」または「世界史探究」とあわせて「日本史」「世界史」として、地理、日本史、世界史でそろえる必要がある。

4. 大学院の教職大学院化に対する課題

教職大学院をめぐる状況について、吉水委員の講演の内容について引き続き議論した。

5. 「地理総合」の教材集

碓井委員より現在の状況について報告があった。

6. 小学校の社会科における地理(環境)の取り扱い方

吉田委員より小学校における状況について、関谷委員より東京都の中学校における事例についてそれぞれ報告があった。

7. その他

・7月26日(木)~27日(金) 全国地理教育研究会 @実践女子学園中学校高等学校